

## 平成 30 年度積算線量測定結果

調査地点: 佐世保港

ポイント 番号	測定結果 (μGy / 91 日)			
	第 1・四半期 (4 月 17 日～7 月 30 日)	第 2・四半期 (7 月 30 日～10 月 11 日)	第 3・四半期 (月日～月日)	第 4・四半期 (月日～月日)
1	124 ± 0.5	121 ± 0.0	±	±
2	129 ± 1.3	133 ± 1.2	±	±
3	110 ± 0.9 <sup>*1</sup>	109 ± 1.4 <sup>*2</sup>	±	±
4	141 ± 2.1 <sup>*1</sup>	147 ± 0.7 <sup>*2</sup>	±	±
5	154 ± 1.7 <sup>*1</sup>	158 ± 0.7 <sup>*3</sup>	±	±
6	119 ± 0.0 <sup>*1</sup>	119 ± 0.0 <sup>*3</sup>	±	±
7	116 ± 0.8 <sup>*1</sup>	119 ± 1.2 <sup>*3</sup>	±	±
8	131 ± 1.0	134 ± 0.7	±	±
9	119 ± 0.5	122 ± 0.7	±	±
10	106 ± 0.5	106 ± 0.7	±	±
比較対照	46 ± 0.3 (3 月 29 日～8 月 2 日)	47 ± 0.9 (7 月 25 日～10 月 15 日)	± (月日～月日)	± (月日～月日)

\*1: 設置期間は 4 月 17 日～7 月 31 日である。

\*2: 設置期間は 7 月 31 日～10 月 11 日である。

\*3: 設置期間は 7 月 31 日～10 月 12 日である。

注) 1 ポイント当り蛍光ガラス線量計 3 個を四半期毎(約 3 ヶ月間)収納箱に設置し、積算線量を測定した。  
測定結果は各ポイントにおける測定値の平均値とし、誤差は標準偏差を示した。

比較対照は宇宙線及びセルフドーズの寄与分を見積もるために蛍光ガラス線量計 6 個を日本分析センターの鉛容器内に保管し、同様に積算線量を測定した。なお、各ポイントの測定結果から比較対照の測定結果を減じることはしていない。